

スプリング・エフェメラルとギフチョウに会おう

- 1 日時：平成31年4月30日（火・祝）
午前の部 11：00～12：00
午後の部 13：15～14：15
- 2 場所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：2人（大人1人、子ども1人）
- 4 講師：櫻井 知栄子さん（自然観察指導員の会）
- 5 主催：福井県自然保護センター、福井県里山里海湖研究所

6 イベントのようす：

平成最後の日、悪天候の具合もあってか午前是一般参加者がいない中、講師の櫻井さんと一緒に自然観察をしました。

まず、野生植物のガジガジ？（スイバに似た植物）を良く揉んだ後、10年玉をこすってみました。薄汚れた10年玉はピカピカになりました。シュウ酸の効果だそうです。その後、家庭にあるいくつかの調味料でも10年玉をこすってみました。ウスターソース、ケチャップ、マヨネーズにしばらく10年玉をつけ込み、どれくらい美しくなるか確認しました。結果、全部美しくなったのですが、最初のガジガジの方が効果は高いようです。酢に漬けても美しくなるのでは？と思ったのですが、実はならないそうです（不思議）。

観察コースでは、大きなシマヘビを発見。「大きいですね」と話していたところ、2人の足下には“とぐろ”を巻いたマムシが……。危うく踏みそうになりました。マムシもびっくりしたのか、ゆるゆると逃げていきました。本州では、8種類ぐらいの蛇がいて、その内、毒を持ったものが2種類、マムシとヤマカガシだそうです。

その後、ギフチョウが生息しているエリアへ向かったのですが、残念ながらギフチョウは現れず……。トリカブト（ニリンソウとそっくり）、ツタウルシ等、危険な植物のお話をお聞きしながら自然保護センターへ戻りました。



ニリンソウ



トリカブト



ツタウルシ

午後になり、参加者は2名と少ないものの、再び午前中と同じコースへ。午前中には見られなかったギフチョウが1羽ヒラヒラ。櫻井さんによれば、今年は見ることができないかも、と思っていたそうですが、何とか見ることができてよかった。ギフチョウは、カンアオイの葉の裏に小さな真珠のような卵を産み、カタクリの花の蜜を吸って繁殖するそうです。数年前から下草を刈って整備してきた生息ポイントを大切に守り、今後、ギフチョウの名所になることを期待します。（森に人の手が適切に加わることが、生物多様性につながることを実感しました。）



イチヨウの花を観察



クマの爪の跡！